

# 令和 8 年度 若年技能者トライアル・ワークショップ

## 「建築大工」職種 実技課題

### 1. 実技課題

以下の注意事項、仕様及び課題図に従い、墨付け及び加工組立てを行いなさい。

### 2. 実技時間

標準時間 : 2 時間 45 分

作業打ち切り : 3 時間 00 分

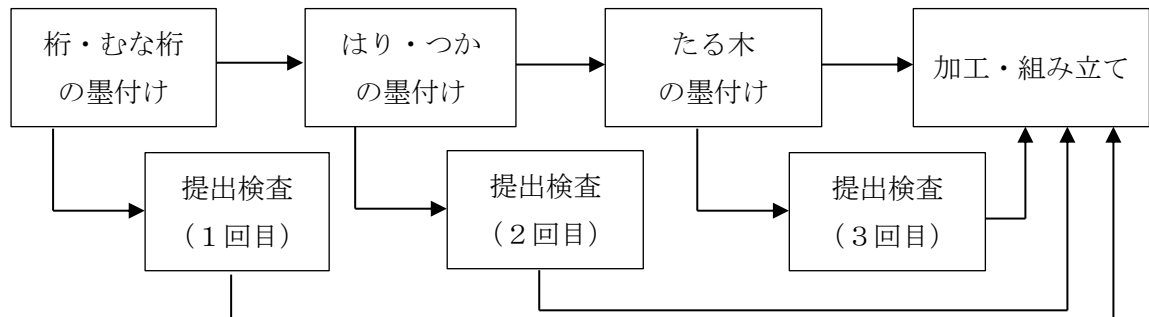
### 3. 注意事項

- ① 作業中は指導者及び補佐員の指示に従うこと。
- ② 支給材料の部材名、数量等を確認すること。
- ③ 支給材料に異常がある場合は、指導者に申し出ること。
- ④ 作業開始後、支給材料は再支給しない。
- ⑤ 使用工具等一覧表で指定した以外のものは使用しないこと。
- ⑥ 作業中の工具等の貸し借りは一切禁止する。
- ⑦ 作業時の服装等は、大工作业に適したものであること。(帽子、ヘルメット類はなくてもよい。)
- ⑧ 課題への事前書込みは禁止とする。また、作業中のメモや参考書等の参照は禁止とする。
- ⑨ 作業中の、携帯電話、スマートフォン(電卓機能の使用を含む)等の使用は禁止とする。

### 4. 仕様

以下の(1)～(3)の指示及び課題図に従い加工し、組み立てなさい。

〈墨付け提出順序〉 指定部材の墨付け提出順序は以下を厳守すること。



(1) 墨付け

- ① 平勾配は、4/10, 5/10, 6/10 の勾配から当日発表とする。
- ② 加工組立てに必要な墨は、すべて墨さしで付けること。
- ③ けびきによる線の上から墨付けを行うことは禁止とする。ただし、芯墨を打つため、部材の両端にマーキングを行う場合のみ、けびきの使用を認める。
- ④ 峠は、桁及びむな桁上端から 5 mm 上がりとする。
- ⑤ つかのほぞの長さは、むな桁の成の半分とすること。また、つかのほぞの断面寸法は幅 60 mm、厚さ 20 mm とすること。
- ⑥ はりのほぞの長さは、課題図のとおりとする。また、はりのほぞの断面寸法は幅 70 mm、厚さは 20 mm とすること。
- ⑦ 桁及びむな桁には、上端及び下端の芯墨並びにたる木の位置墨(口脇墨)を入れること。
- ⑧ つかには、むな桁のほぞ墨及びはりの穴墨を入れること。
- ⑨ つかには、芯墨(4 面)及び峠墨(△印)を入れること。
- ⑩ はりには、上端及び下端の芯墨並びに桁とつかとの取合い墨を入れること。
- ⑪ たる木は、課題図に基づき墨付けをすることとし、上端及び下端に芯墨を入れること。
- ⑫ 飼木(ねこ)を除く材幅芯は全て墨打ちとすること。
- ⑬ 支給材料の木口は、芯墨や切墨等に利用しないこと。
- ⑭ すべての芯墨マークを記入すること。

(2) 加工組立て

- ① 加工組立ての順序は、参加者の任意とすること。
- ② 加工組立ては、課題図のとおりとすること。
- ③ 飼木(ねこ)は、二つ切りとして使用するものとし、飼木(ねこ)木口よりそれぞれ 2 本のくぎで固定すること。
- ④ 各部材のかんな仕上げはしなくてもよい。ただし、ほぞ及び切り木口の面取りをすること。
- ⑤ 桁の小返り部分の仕上げはかんな削りとすること。

- (3) 作品は、指定の位置にくぎ止め(打ち込み)し、組み上がった状態で提出すること。

5. 支給材料

(単位: mm)

| 部材名    | 寸法又は規格        | 数量(本) | 備 考       |
|--------|---------------|-------|-----------|
| 桁      | 500×60×70     | 1     |           |
| つか     | 400×60×60     | 1     |           |
| はり     | 500×60×70     | 1     |           |
| むな桁    | 500×60×70     | 1     |           |
| たる木    | 800×30×36     | 2     |           |
| 飼木(ねこ) | 200×60×50     | 1     | 二つ切りとする   |
| くぎ     | 50 つか、飼木(ねこ)用 | 7     | 予備 2 本を含む |
|        | 65 たる木用       | 6     | 予備 2 本を含む |

使用工具等一覧表 「建築大工」 職種

(1) 参加者が持参するもの

| 品名        | 寸法又は規格     | 数量 | 備考                            |
|-----------|------------|----|-------------------------------|
| さしがね      |            | 1  |                               |
| 墨さし       |            | 1  |                               |
| 墨つぼ       |            | 適宜 | 黒墨のものとする                      |
| かんな       |            | 2  |                               |
| のみ        |            | 適宜 |                               |
| のこぎり      |            | 適宜 | 胴付きのこは不可                      |
| きり        |            | 1  | くぎ、下穴用<br>持参は任意とする            |
| げんのう      | 小、中        | 2  |                               |
| あて木       |            | 1  | あて木として以外の使用は不可                |
| かじや(バール)  |            | 1  |                               |
| けびき       |            | 1  | 固定したものは不可とする                  |
| まきがね(スコヤ) |            | 1  |                               |
| くぎしめ      |            | 1  | 持参は任意とする                      |
| 自由がね      |            | 1  | 固定したものは不可とする                  |
| 養生類       | タオル、すべり止め等 | 適宜 | 持参は任意とする                      |
| 作業服等      |            | 一式 | 大工作業に適したもの                    |
| 筆記用具      |            | 適宜 | シャープペンシルも可<br>墨付け時はマーキングのみ使用可 |
| 飲料        |            | 適宜 | 熱中症対策、水分補給用                   |
| 掃除道具      |            | 適宜 |                               |
| くぎ        |            | 適宜 | 治具作成用(38mm)                   |
| ゴミ袋       |            |    | 残材等の持ち帰り用                     |
| 胴縁        | 500mm 程度   |    | 無地(書きこみのないもの)                 |

注 1. 使用工具等は、上記のものに限るが、すべてではなく、参加者の判断で必要なもののみを持参してよい。また、同一種類のものを予備として持参してよいが、破損時等のみ使用できるものとする。

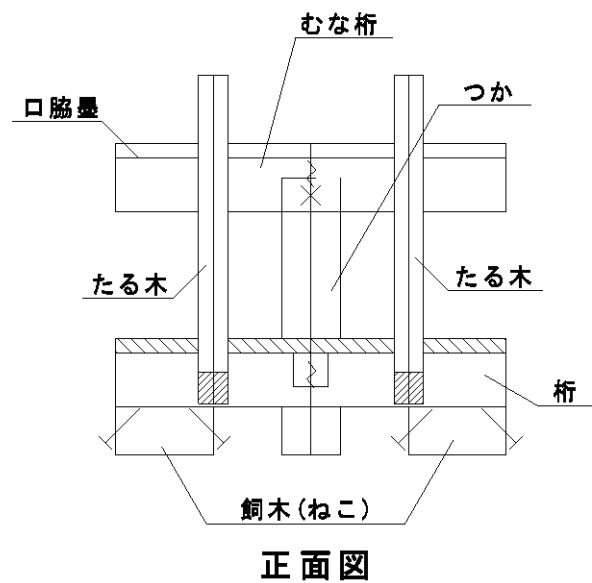
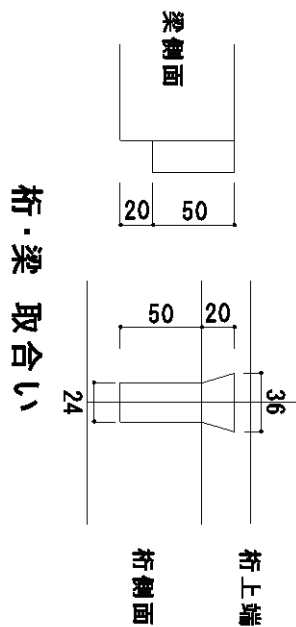
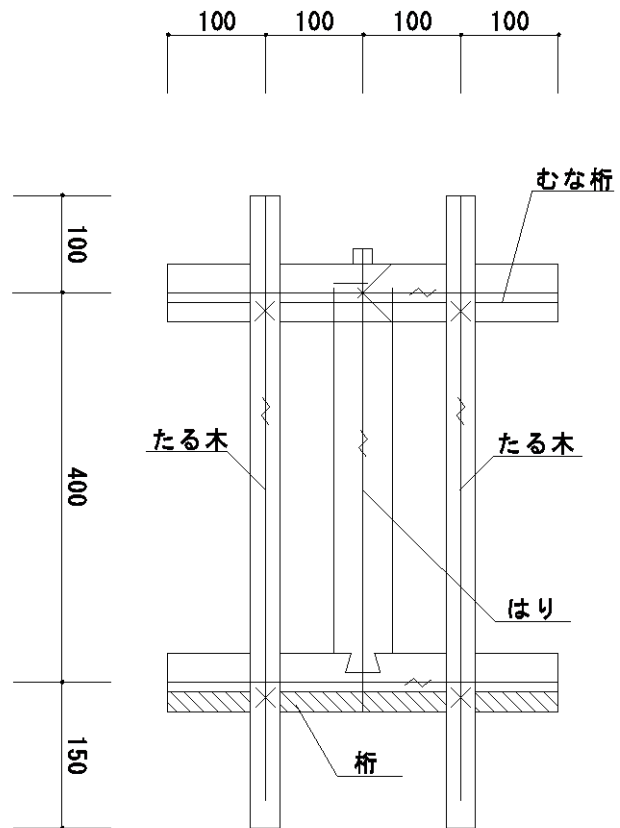
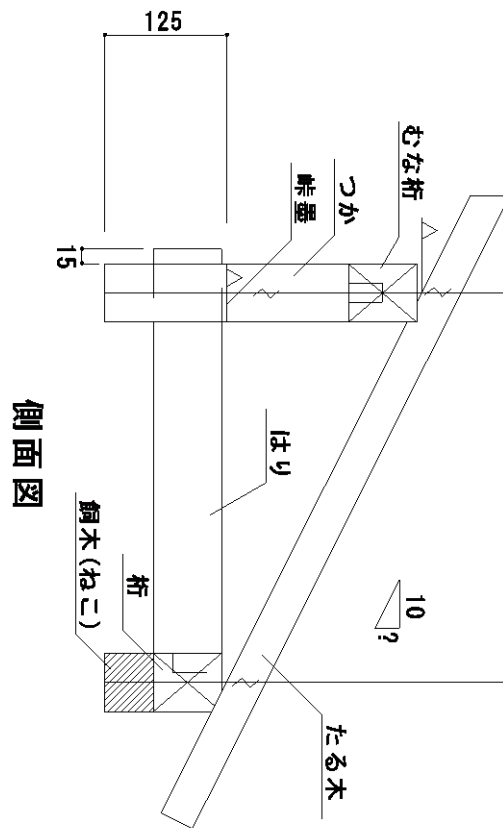
注 2. 「飲料」については、各自で実技会場の状況や天候等を考慮の上、持参すること。

(2) 実技会場に準備されているもの（参加者 1 名当たりの数量）

(単位：mm)

| 品名    | 寸法又は規格         | 数量 | 備考 |
|-------|----------------|----|----|
| 削 り 台 |                | 1  |    |
| 作 業 台 | 300×105×105 程度 | 2  |    |

令和8年度 若年技能者トライアル・ワークショップ  
「建築大工」職種 実技課題図



- (注)  
1 ×印は、釘の位置を示す。  
2 単位はmmとし、破線は想像線を示す。

## 令和８年度 若年技能者トライアル・ワークショップ

### 「建築大工」職種 実技実施要領

実技の実施にあたって留意すべき事項を以下に示す。

#### 1. 実技時間等

作業時間は、２時間４５分とする。３時間で作業打ち切りとする。

#### 2. 実技の内容

材料に直接墨付けのうえ、桁、はり、つか、むな桁及びたる木の加工組立てを行い、切り妻小屋組の一部を製作する。

#### 3. 実技前の準備等

##### (1) 実技会場

- ① 兵庫県立ものづくり大学校【姫路市市之郷 1001-1】の施設を使用する。
- ② 参加者１名当たりの作業場所として 2m×2m の床面積を準備する。
- ③ 作業実施に支障のない照度を確保する。

##### (2) 実技用材料

実技会場に準備する支給材料は、実技課題２ページ「５ 支給材料」に詳細を示すが、特に注意すべき事項は、以下のとおりである。

- ① 支給材料の材種については、杉（上小節程度）を使用する。  
なお材種は、実技実施の際に、割れ、くされ等の欠陥等のないものを準備する。
- ② 支給材料（仕上がり寸法）は、手押しかんな盤等を使用して正確な寸法に各面、角度等を仕上げて支給する。

##### (3) 実技用設備

実技会場に準備する設備は、実技課題３ページ「仕様工具等一覧表(2)実技会場に準備されているもの」に示すとおりとする。

#### (4) 実技会場の整備

- ① 参加者の作業場所は、テーブル等で区画し、番号を表示して参加者の作業すべき場所として明示する。参加者の作業場所(番号)は当日作業開始前に抽選により決定する。
- ② 支給材料は、参加者の作業場所に配置しておき、数量等の点検、確認をしておくが、実技作業開始前には、参加者が各自で必ず確認すること。

#### 4. 実技実施に当たっての注意事項

- (1) 実技開始前には、参加者が持参した工具等を指導者が点検し、使用工具等一覧表に記載されている以外のものは使用禁止とする。  
また、参加者が持参した実技課題について、実技内容に係る書込（アンダーライン、マーカ一等は含まれない。）がないかを指導者が確認し、書込みがあった場合には、参加者に、書込み部分を消す、塗りつぶす等により削除するよう指示する。
- (2) 実技開始前には、「5. 参加者への説明」の後、参加者からの質問を受けるが、実技課題のヒントになる質問には一切応じない。
- (3) 実技の開始、打ち切り時間までの経過を参加者に周知するための合図等を行う。
- (4) 実技中、指導者は参加者の作業状況を注視監督し、実技終了後には作品の審査を行う。

#### 5. 参加者への説明

指導者が、作業開始前に実技課題の注意事項・仕様等を読み上げ説明するが、主な事項は次のとおり。

- (1) 支給材料は、各参加者の作業場所に配置してあるので、各自確認及び点検をすること。
- (2) 支給された部材の幅及び成は、仕上がり寸法である。
- (3) 墨付けの方法は、普段行っている方法でよいが、けびきによる線の上から墨付けを行うことは禁止とする。ただし、芯墨を打つため、部材の両端にマーキングを行う場合のみ、けびきの使用を認める。
- (4) 仕様及び課題図で指示されたものはこれに従い、指示されていないもの（図面上に寸法が指示されていないものも含む。）については、慣習に従って適宜工作してもさしつかえないものとする。
- (5) かなの削りくず等は、参加者自身で片付けること。
- (6) 作業中は、携帯電話、スマートフォン（電卓機能の使用を含む。）等の使用は禁止とする。